

2018インバウンド概況

豊岡観光イノベーション
2019. 3. 11

(万人)

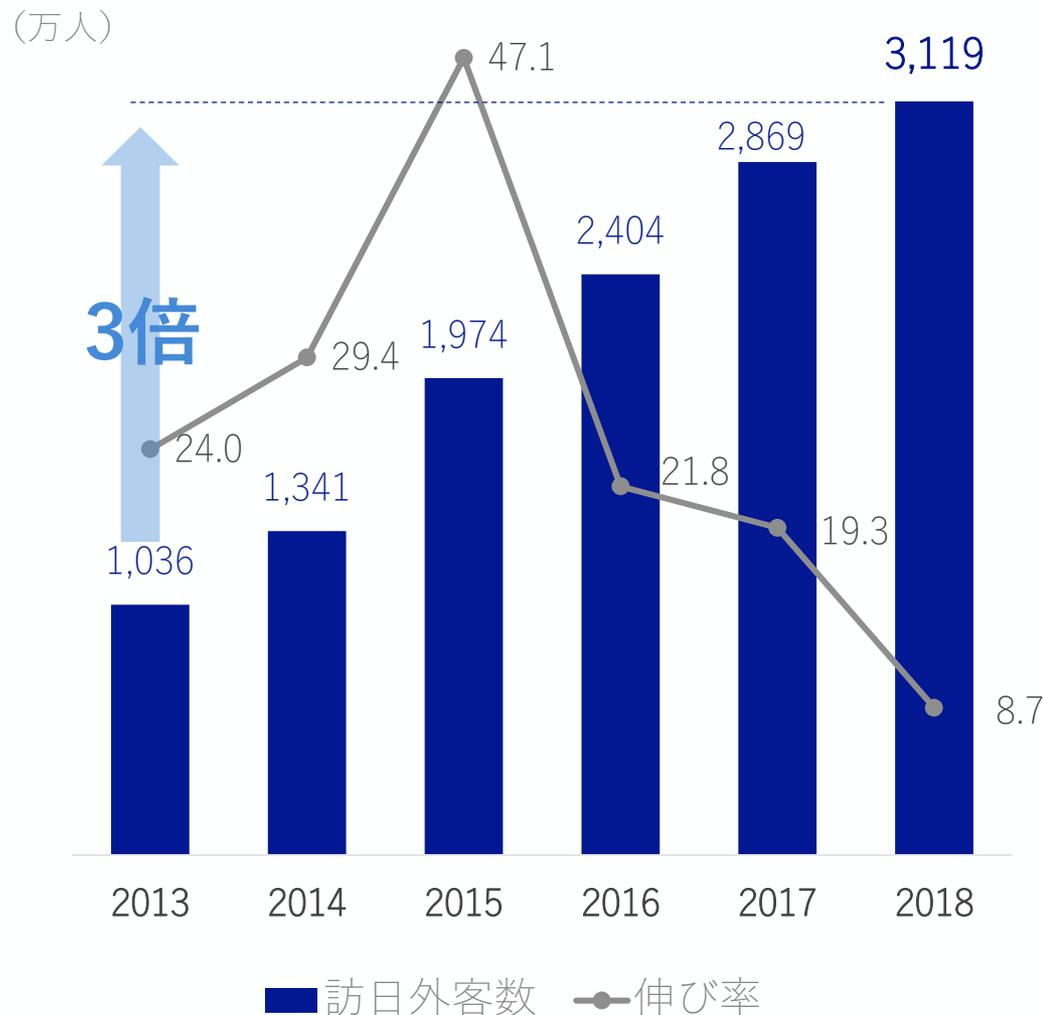


2003年-2012年までは緩やかな増加。

2013年に1000万人、2016年に2000万人、2018年に3000万人と大きく成長。

政府は、2020年に4000万人を目指している

出典：日本政府観光局(JNTO)



2013年7月
東南アジア 5 カ国
ビザ発給要件緩和

2015年1月
中国
ビザ発給要件緩和



**2014-2017年
インバウンド大きく成長**

2018年自然災害等もあり、
低調な伸び

出典：日本政府観光局(JNTO)

	国（地域）	2018年	2017年	昨年対比
1	中国	8,380,100 (人)	7,355,818 (人)	114%
2	韓国	7,539,000	7,140,438	106%
3	台湾	4,757,300	4,564,053	104%
4	香港	2,207,900	2,231,568	99%
5	米国（アメリカ）	1,526,500	1,374,964	111%
6	タイ	1,132,100	987,211	115%
7	豪州（オーストラリア）	552,400	495,054	112%
10	シンガポール	437,300	404,132	108%
13	英国（イギリス）	334,000	310,499	108%
15	フランス	304,900	268,605	114%

8位：フィリピン（118%）、9位：マレーシア（107%）、11位：インドネシア（113%）、12位：ベトナム（126%）

出典：日本政府観光局(JNTO)

2013年 10,363,904人
(人)

3倍

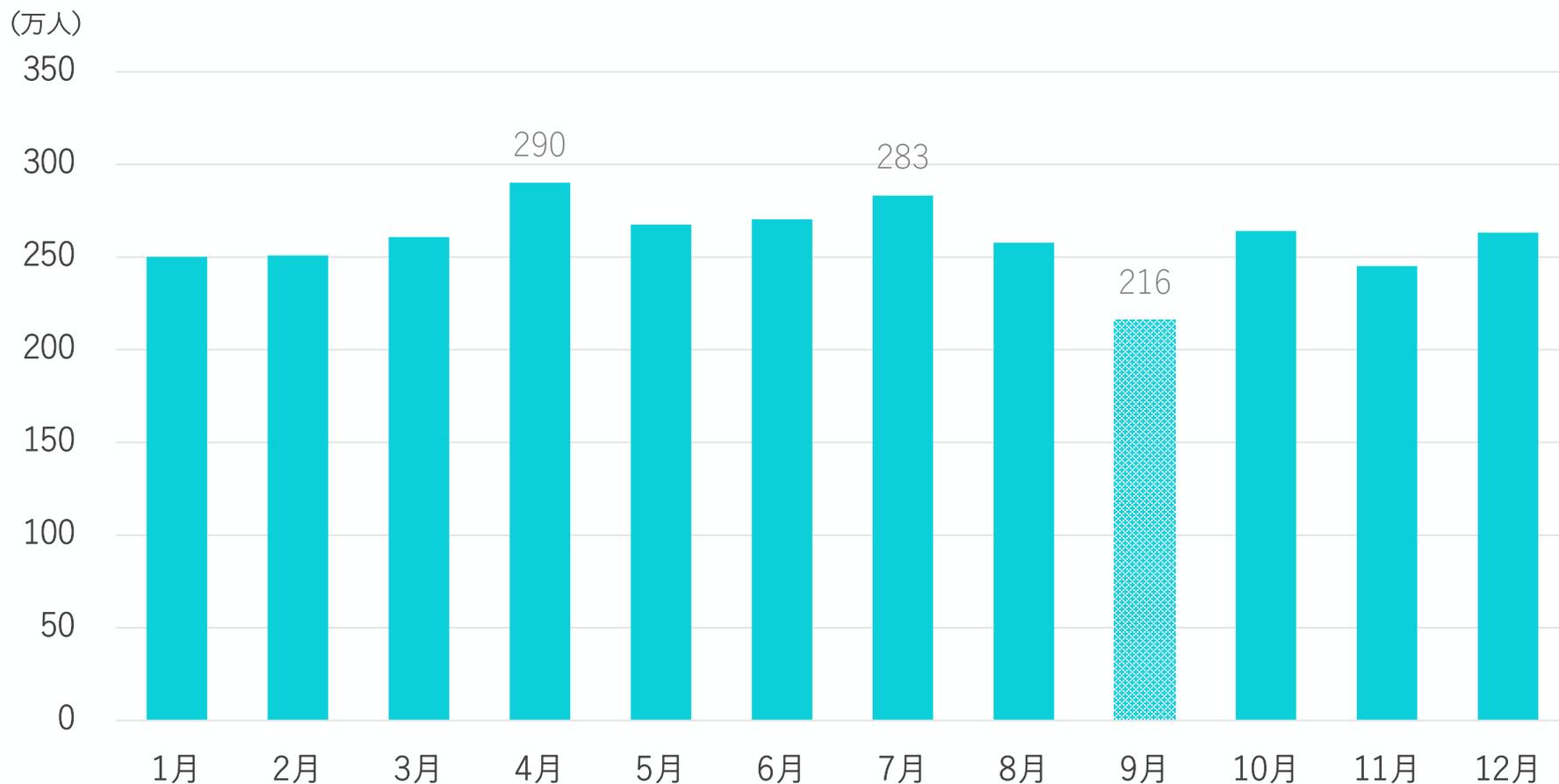
2018年 31,191,900人
(人)

1	韓国	2,456,165
2	台湾	2,210,821
3	中国	1,314,437
4	米国	799,280
5	香港	745,881
6	タイ	453,642
7	豪州	244,569
8	英国	191,798
9	シンガポール	189,280
10	マレーシア	176,521
11	フランス	154,892
12	カナダ	152,766
13	インドネシア	136,797



1	中国	8,380,100	6倍
2	韓国	7,539,000	3倍
3	台湾	4,757,300	2倍
4	香港	2,207,900	3倍
5	米国	1,526,500	2倍
6	タイ	1,132,100	2.5倍
7	豪州	552,400	2倍
8	フィリピン	504,000	4.5倍
9	マレーシア	468,300	2.5倍
10	シンガポール	437,300	2倍
11	インドネシア	396,900	3倍
12	ベトナム	389,100	4.5倍
13	英国	334,000	1.5倍

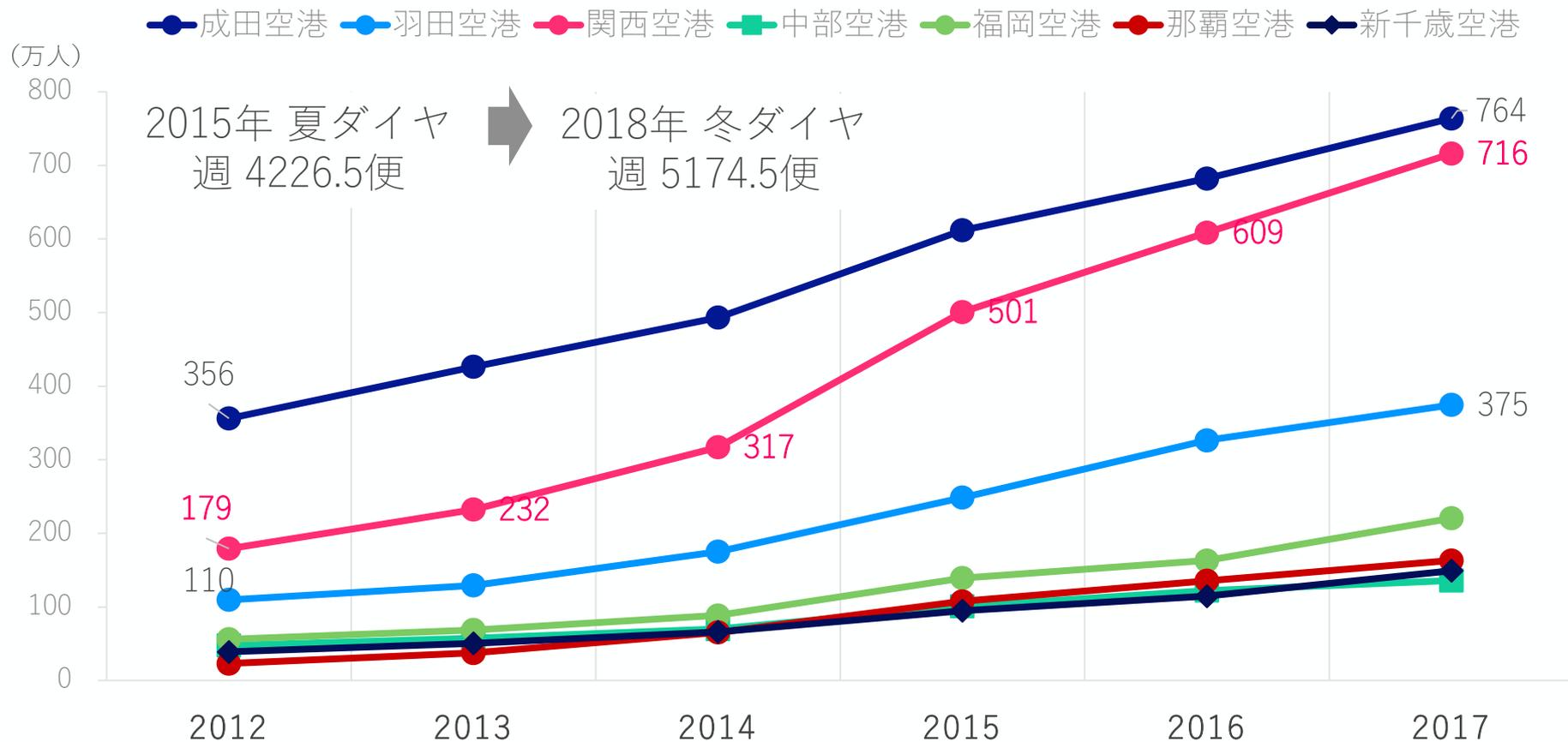
出典：日本政府観光局(JNTO)



4月桜シーズン（イースター休暇、タイ旧正月休暇）・7月（夏季休暇）が訪日ハイシーズン
9月：台風21号被害による関空閉鎖、北海道胆振東部地震の影響で、前年を下回る
9月を除くすべての月で過去最高を記録

出典：日本政府観光局(JNTO)

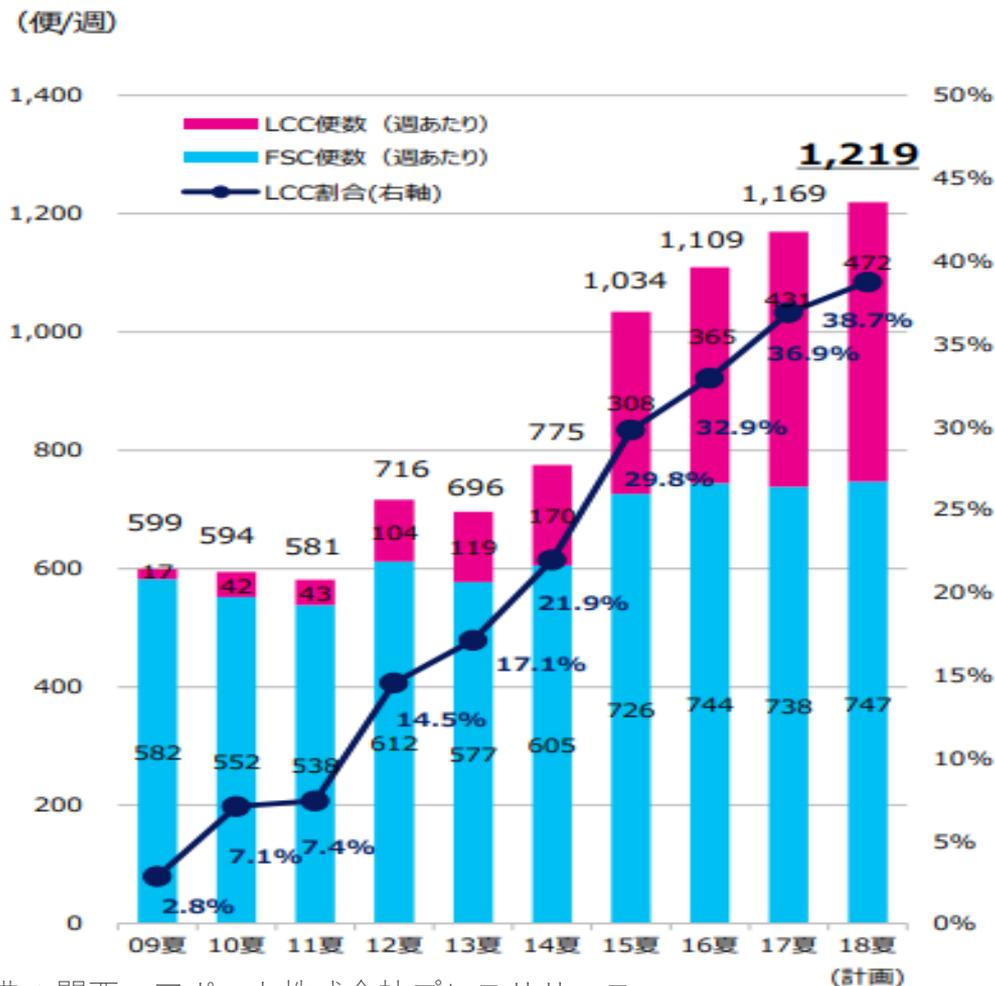
入国訪日外国人人数 主要空港別推移



2017年の入国者数の最多は、764万人の成田空港。続いて関空の716万人。
関西空港は、2015年以降大きく成長。

国際線就航便数は、2015年夏 - 2018年冬で22%増

出典：法務省「出入国管理統計統計表」



国際旅客便における
LCC 便数
週 472 便

4割がLCC

出典：関西エアポート株式会社プレスリリース

2018年週1219便のうち、LCCが472便（24都市、48路線）と国際旅客便の約4割。
国内空港で最も海外LCCを抱えている空港

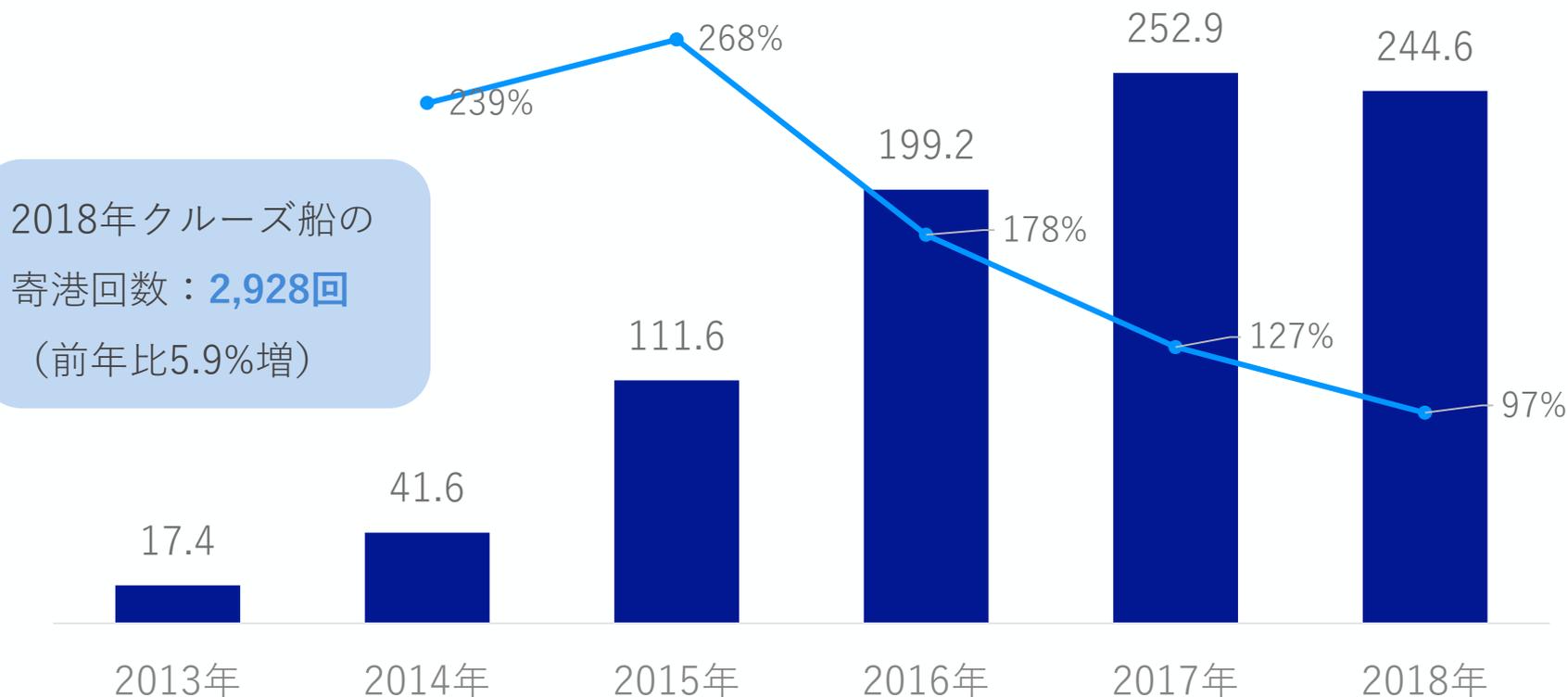
	国（地域）	2018年（人）	2017年（人）	昨年対比
1	中国	2,299,961	1,819,501	126%
2	韓国	2,163,370	2,147,959	101%
3	台湾	1,054,506	1,146,696	92%
4	香港	616,785	679,874	91%
5	タイ	261,962	242,423	108%
6	アメリカ	176,850	149,423	118%
7	マレーシア	153,059	145,903	105%
8	フィリピン	131,823	117,702	112%
9	ベトナム	95,121	67,360	141%
10	シンガポール	91,055	71,309	128%

中国・韓国からの入国者数が圧倒的に多い。韓国はLCC,中国はFSCが中国各地から就航

2019年3月28日にタイ・ライオン・エアが新規就航（週5便）

2019年4月1日には、ブリティッシュエアラインが20年ぶりに再就航（週4便）

(万人)



クルーズによる入国者数は、前年比3.3%減の244.6万人

最大のシェアを持つ中国発のクルーズ旅客は202万人（前年比7%減）、台湾発は31万人（前年比12.7%増）、日本発着クルーズでの入国者数は7.3万人（前年比43.1%増）

寄港回数は、前年比5.9%増の2,928回で過去最高

出典：国土交通省港湾局プレスリリース

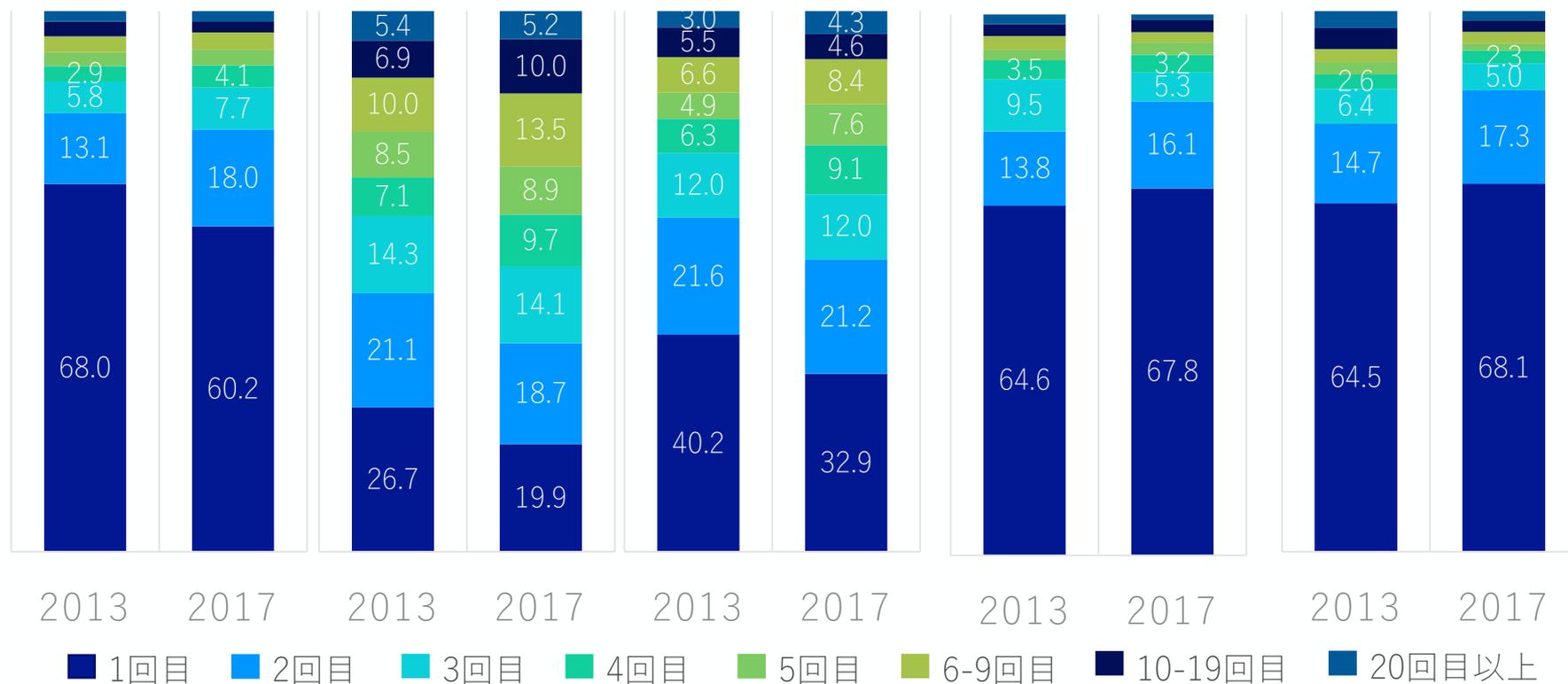
中国

台湾

タイ

フランス

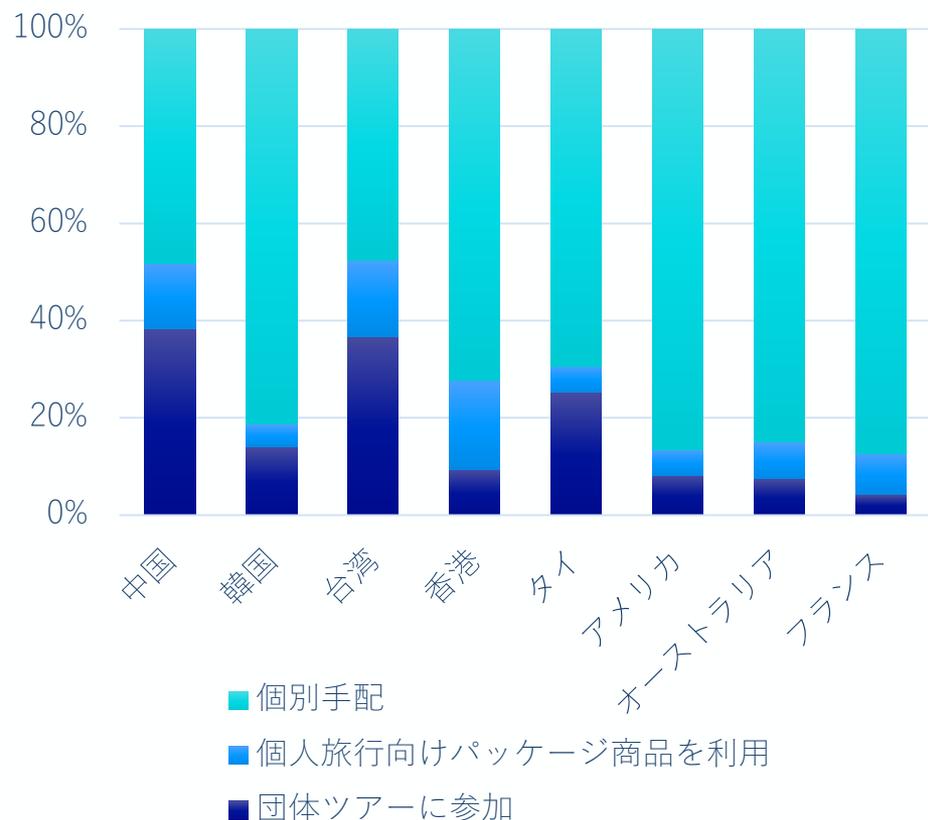
アメリカ



東アジア：中国は初訪日層が6割に対し、台湾はリピーターが8割
 東南アジア：タイでは、リピーターが約6割
 欧米：初訪日層が約7割

出典：観光庁「2017年消費動向調査」

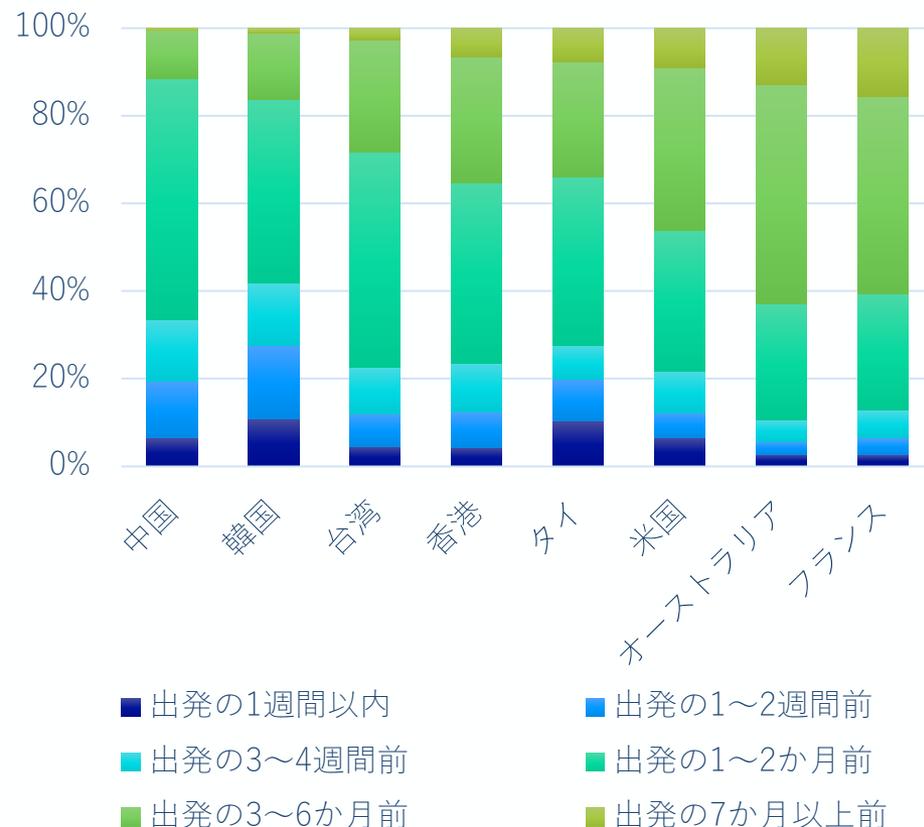
旅行手配方法



個別手配にシフト

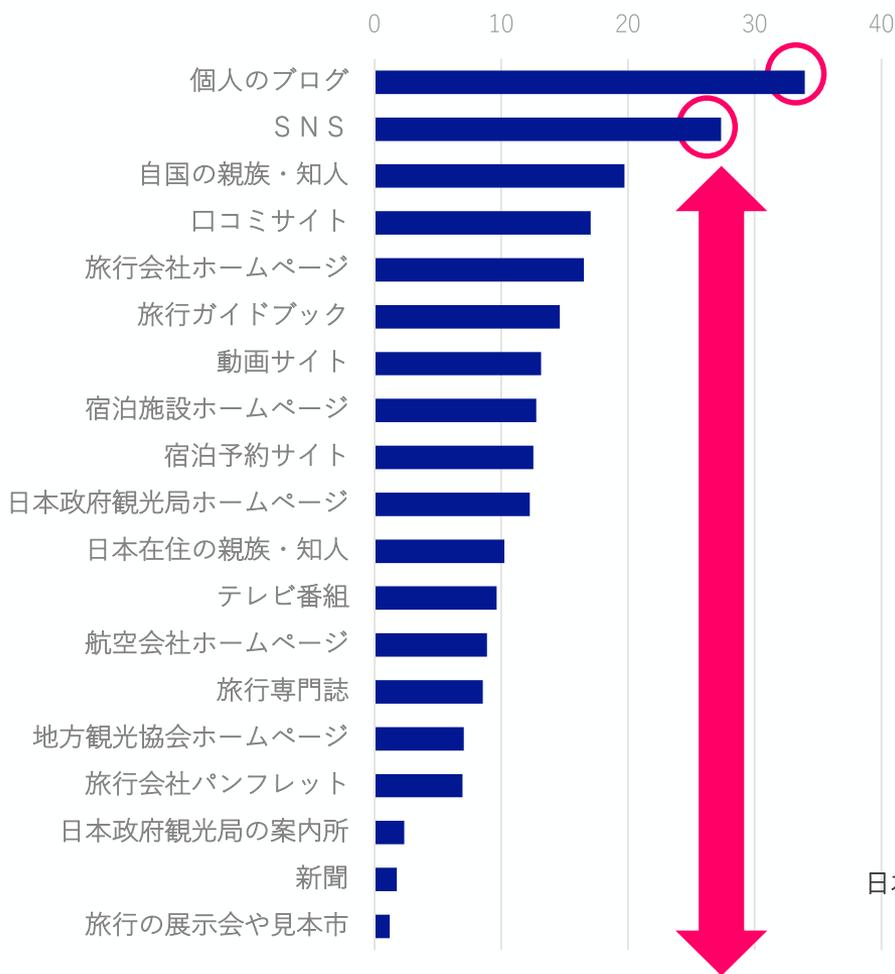
中国・台湾やタイは団体ツアー層が一定数あり
香港は、個人旅行向けのパッケージ商品を活用

リードタイム



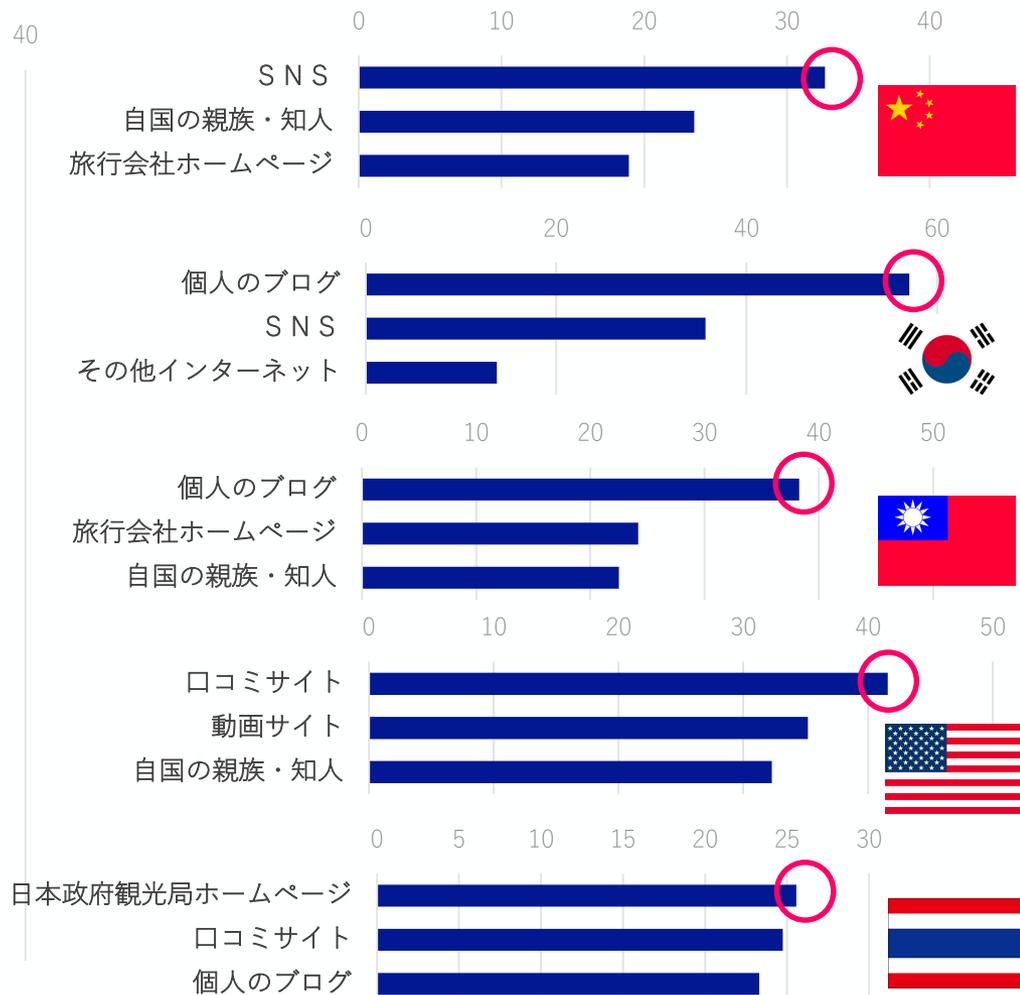
近距離は、リードタイムは短く、遠距離市場は、訪日旅行への計画は早めに行く傾向

訪日旅行に関する情報収集方法



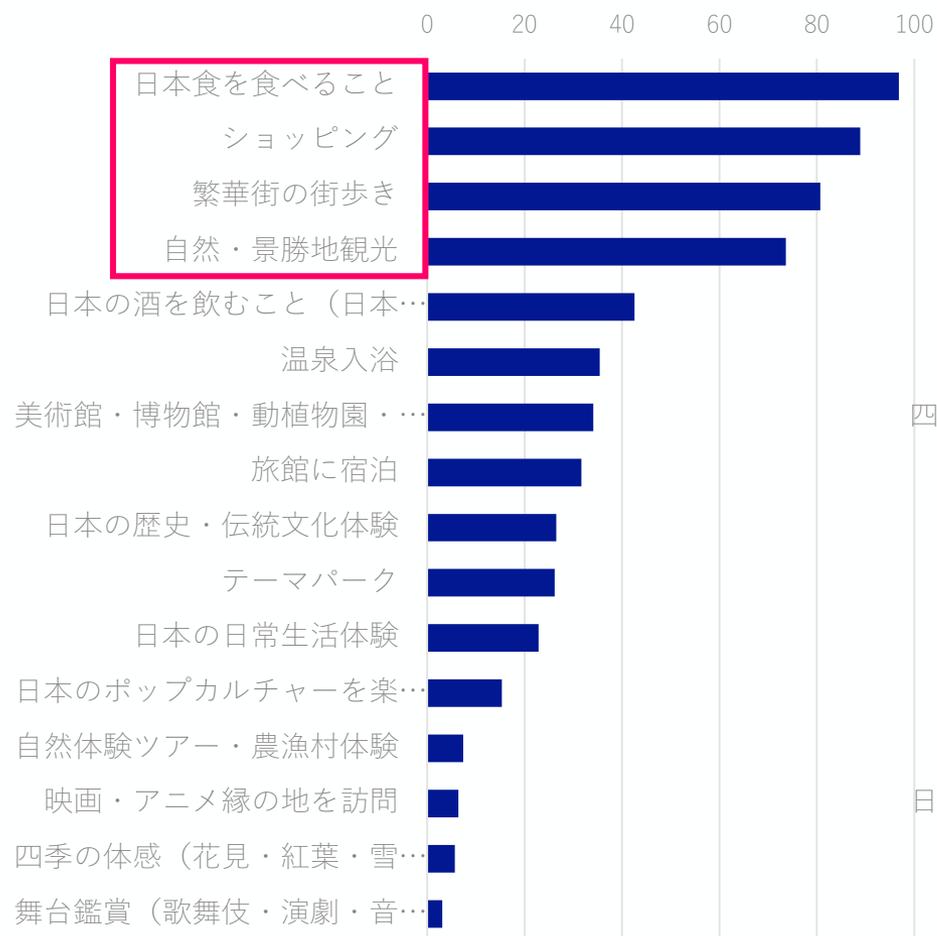
※出典：観光庁

国ごとの特色



訪日旅行で今回したこと、次回したいこと

今回したこと



次回したいこと



国別訪日外国人1人当たり費目別旅行支出

(円、泊)

	国・地域	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽・サービス費	買い物代	その他	平均泊数
	全国積・地域	152,594	45,822	33,664	16,209	5,952	50,880	67	9.1
1	オーストラリア	242,050	99,084	58,815	35,046	16,128	32,742	236	13.3
2	スペイン	236,996	92,527	61,910	42,164	7,598	32,797	0	14.2
3	イタリア	224,268	88,116	58,119	39,306	7,579	30,863	286	15.2
4	中国	223,640	47,932	39,854	16,868	7,968	110,923	95	9.7
5	イギリス	219,725	100,009	55,771	32,983	8,278	22,649	34	13.8
6	フランス	215,733	85,594	56,901	33,415	7,348	32,434	41	18.4
7	ドイツ	191,783	84,397	47,592	28,503	5,962	25,242	87	13.9
8	アメリカ	191,352	82,192	50,573	27,282	7,844	23,427	34	13.5
11	カナダ	184,134	75,220	47,743	27,717	8,250	25,060	143	12.3
12	シンガポール	171,039	62,409	41,551	19,852	5,902	41,261	64	8.3
14	香港	154,460	45,651	36,743	16,711	5,025	50,294	36	6.3
17	台湾	128,069	35,882	28,164	13,794	4,963	45,236	31	6.8
18	タイ	124,300	36,880	27,807	15,104	4,379	40,006	124	8.9
20	韓国	77,559	24,888	19,837	7,660	3,833	21,292	49	4.3

平均宿泊数 (観光目的：2018年第1-第3四半期)

(泊)

	都道府県	1-3月
1	福島県	5.3
2	北海道	5.1
3	長野県	4.9
4	埼玉県	4.8
5	岡山県	4.6
6	東京都	4.3
7	沖縄県	3.8
8	岩手県	3.4
9	鹿児島県	3.2
10	茨城県	2.9
12	大阪府	2.8
31	滋賀県	1.7
35	和歌山県	1.6
36	京都府	1.5
40	兵庫県	1.1
46	奈良県	0.5

	都道府県	4-6月
1	山形県	8.0
2	茨城県	5.9
3	埼玉県	5.7
4	福島県	5.2
5	東京都	4.7
6	北海道	4.4
7	新潟県	4.3
8	三重県	4.2
9	青森県	4.0
10	沖縄県	4.0
13	大阪府	2.8
26	和歌山県	1.9
28	滋賀県	1.8
29	京都府	1.8
38	兵庫県	1.3
47	奈良県	0.4

	都道府県	7-9月
1	埼玉県	5.9
2	茨城県	5.3
3	福島県	5.1
4	北海道	4.8
5	福井県	4.6
6	東京都	4.5
7	沖縄県	4.2
8	群馬県	3.9
9	新潟県	3.9
10	栃木県	3.6
15	大阪府	2.7
18	滋賀県	2.4
20	和歌山県	2.2
23	京都府	2.1
37	兵庫県	1.4
46	奈良県	0.4

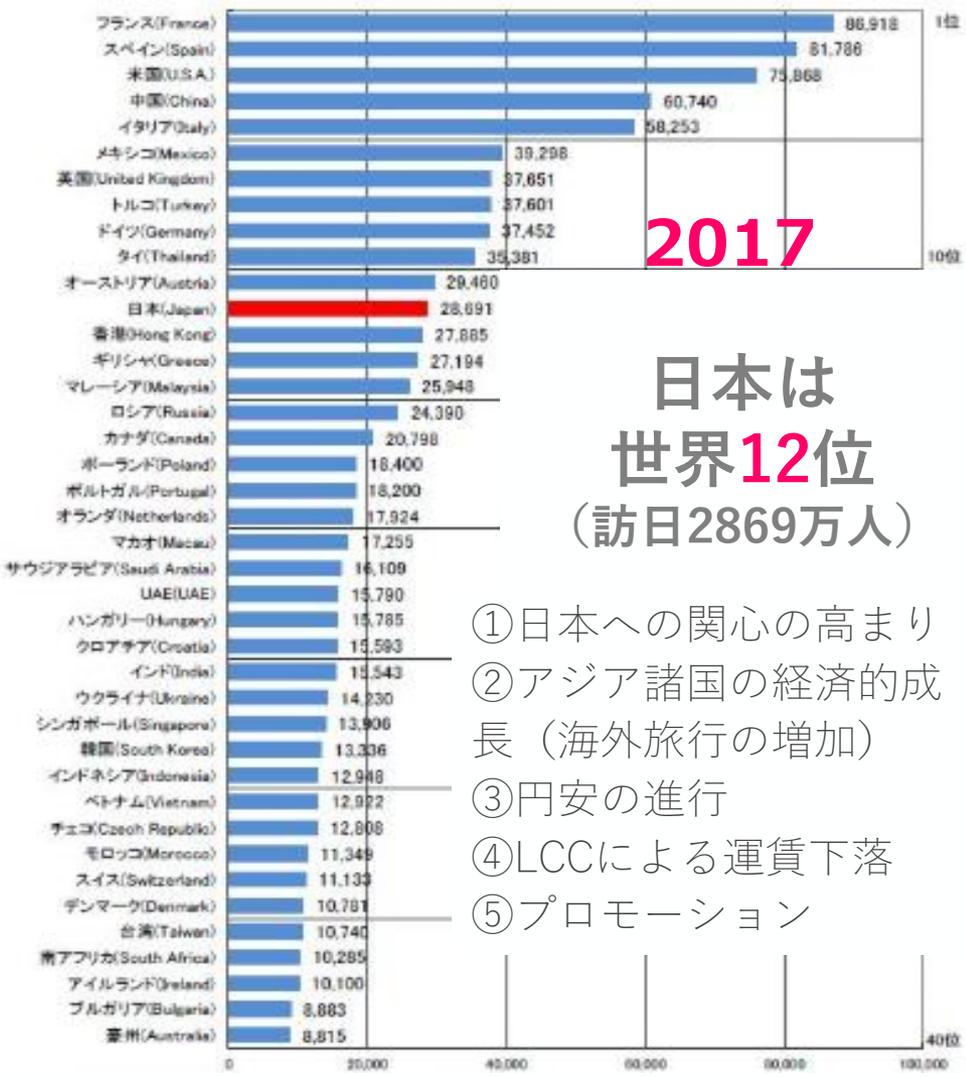
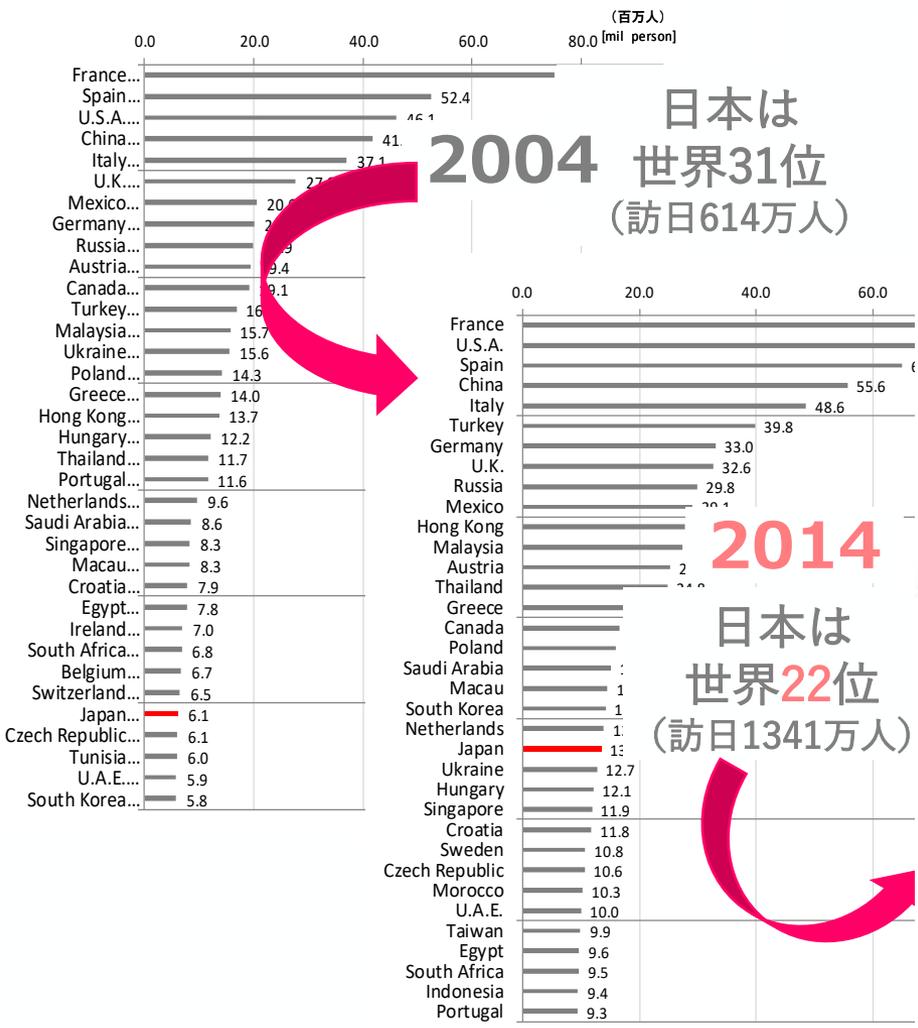
1人1回当たりの外国人旅行消費単価（観光目的：2018年第1-第3四半期） （円/人）

	都道府県	1-3月
1	北海道	109,607
2	東京都	97,047
3	長野県	77,191
4	沖縄県	69,027
5	大阪府	64,408
6	岩手県	56,874
7	福岡県	56,360
8	鹿児島県	53,724
9	新潟県	52,515
10	山形県	45,602
26	京都府	25,345
30	和歌山県	22,590
33	滋賀県	22,241
34	兵庫県	21,742
47	奈良県	8,485

	都道府県	4-6月
1	東京都	81,285
2	北海道	73,046
3	沖縄県	66,297
4	大阪府	57,347
5	福岡県	52,222
6	新潟県	42,365
7	鹿児島県	41,256
8	香川県	39,167
9	宮城県	38,987
10	愛知県	36,373
18	京都府	23,927
26	和歌山県	19,880
42	兵庫県	12,478
45	滋賀県	10,689
47	奈良県	5,165

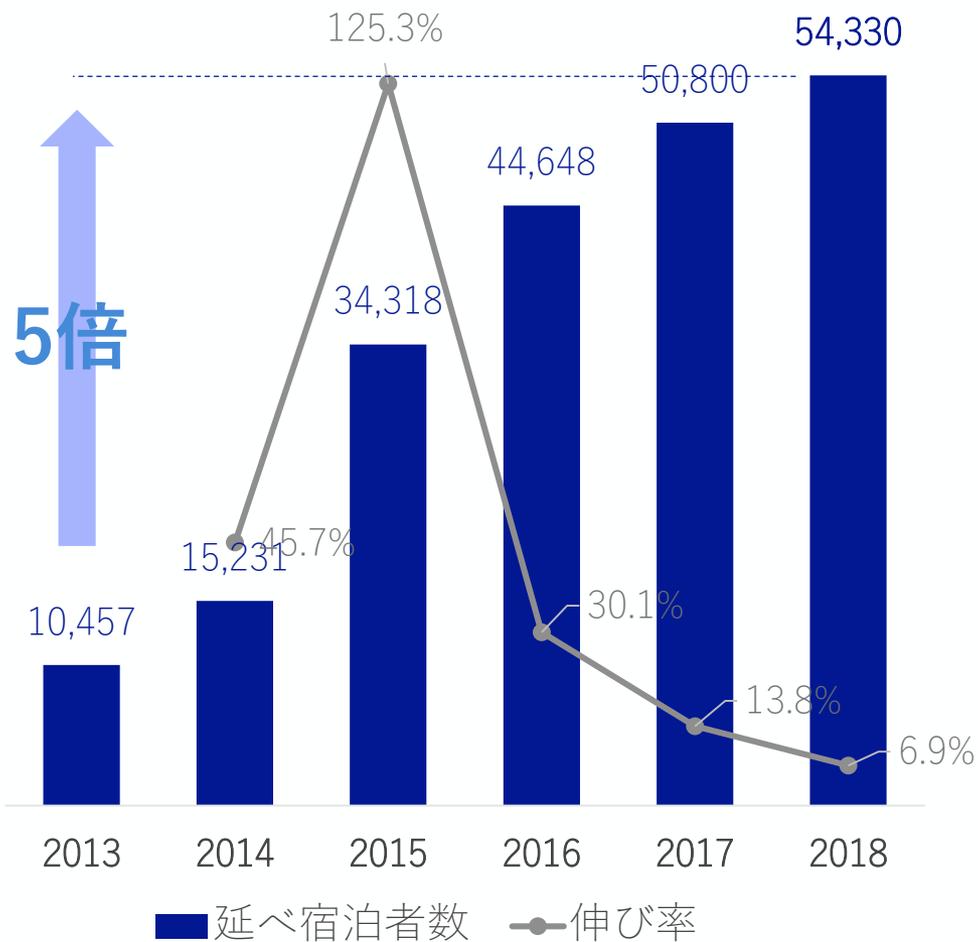
	都道府県	7-9月
1	東京都	88,015
2	北海道	79,656
3	沖縄県	77,955
4	福島県	57,495
5	大阪府	55,834
6	福岡県	51,072
7	鹿児島県	46,998
8	埼玉県	44,214
9	香川県	42,638
10	新潟県	38,540
15	京都府	27,769
26	和歌山県	21,231
37	兵庫県	14,309
46	滋賀県	10,131
47	奈良県	4,446

世界各国・地域への外国人訪問者数ランキング



- ①日本への関心の高まり
- ②アジア諸国の経済的成長 (海外旅行の増加)
- ③円安の進行
- ④LCCによる運賃下落
- ⑤プロモーション

延べ宿泊者数



2018年
豊岡市外国人延べ宿泊者数
過去最高

前年伸び率
**2017年以降
“鈍化傾向”**

出典：豊岡市延べ宿泊者数

	国（地域）	2018年 (人泊)	2017年 (人泊)	昨年対比
1	台湾	10,487	8,134	129%
2	中国	9,516	10,549	90%
3	香港	5,647	6,154	92%
4	タイ	5,482	4,711	116%
5	フランス	3,704	2,301	161%
6	アメリカ	3,070	2,789	110%
7	オーストラリア	1,900	2,192	87%
8	シンガポール	1,727	1,725	100%
9	韓国	1,654	2,108	76%
10	イギリス	1,210	1,452	83%

台湾が前年の約30%増で1万人泊を超え、第1位
2018年に急成長したのは、第5位 フランス（前年比60%増）
中国・香港の減少が豊岡全体の2018年伸び率に大きく影響

■ 城崎 ■ 豊岡 ■ 竹野 ■ 日高 ■ 但東

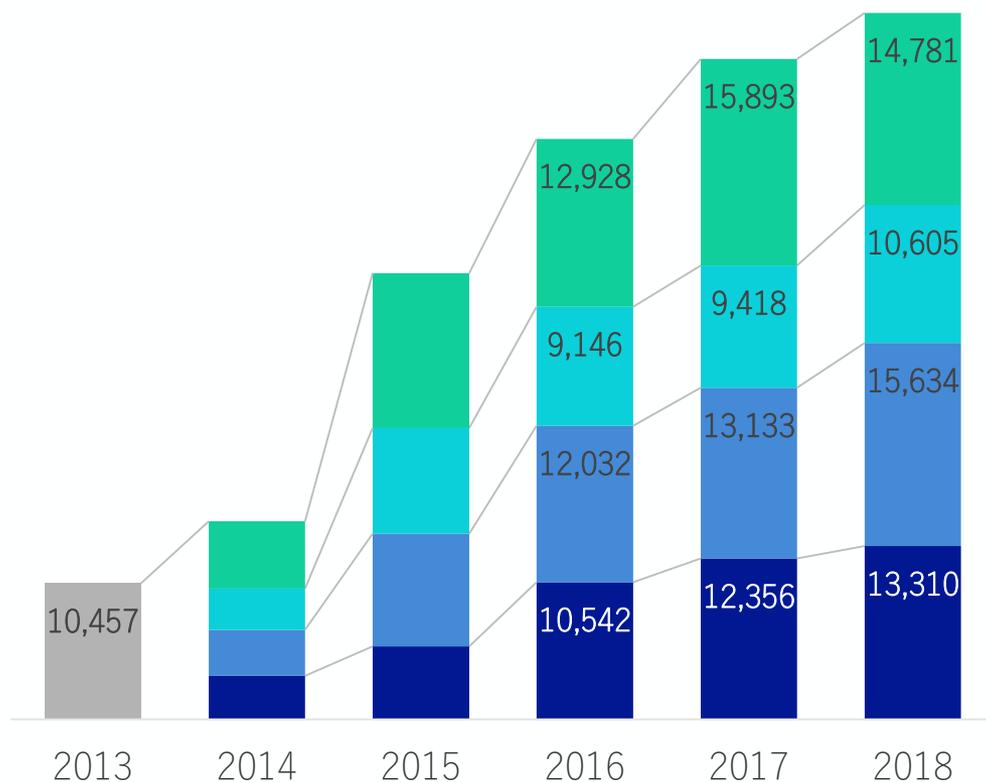


2017年比

城崎
97%
豊岡
178%
竹野
132%
日高
207%

神鍋：台湾からの団体旅行需要が増加
竹野：台湾はマイナス、タイ・フランスが需要増
豊岡市街地：東アジア4市場がプラスに成長（+20%以上）

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期



2017年比

第4四半期（10-12月）

93%

第3四半期（7-9月）

113%

第2四半期（4-6月）

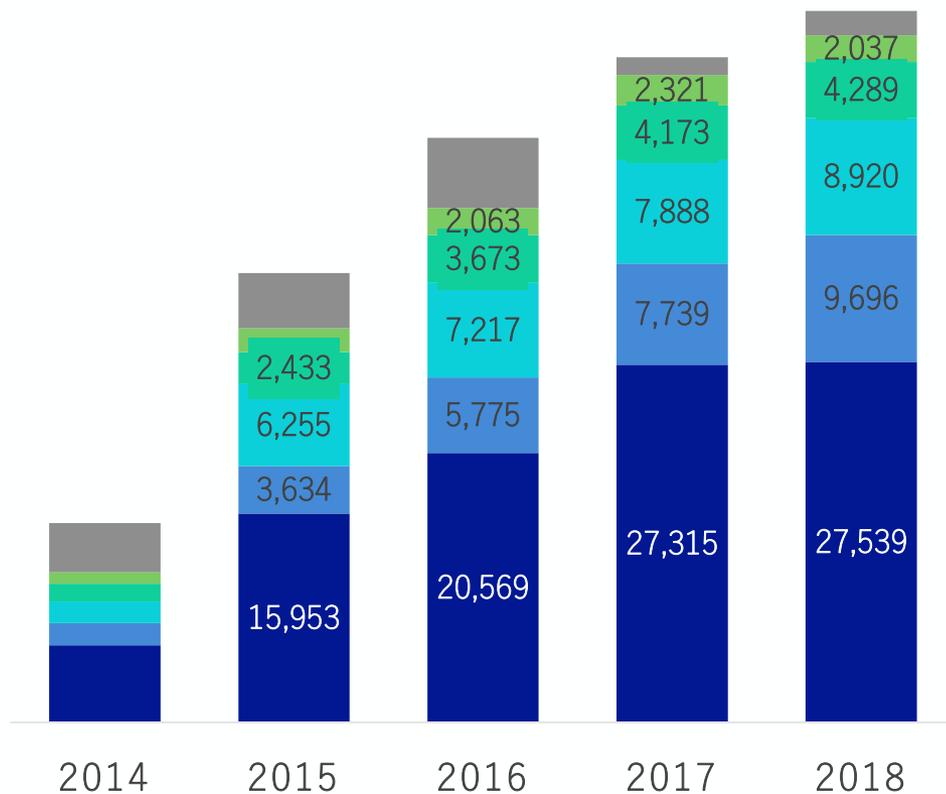
119%

第1四半期（1-3月）

108%

第1四半期（1-3月）は、前年比微増
第2・3四半期（4-9月）は、好調に推移
第4四半期（10-12月）が前年比マイナス

- 東アジア
- 東南アジア
- 欧州
- 北米



2017年比

豪州
88%

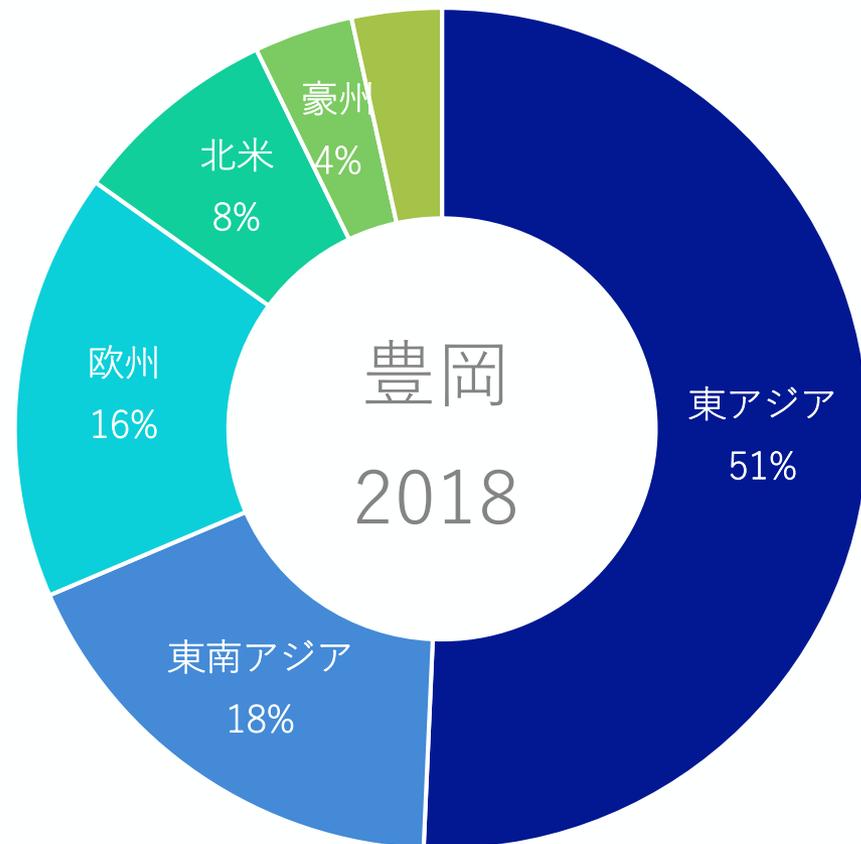
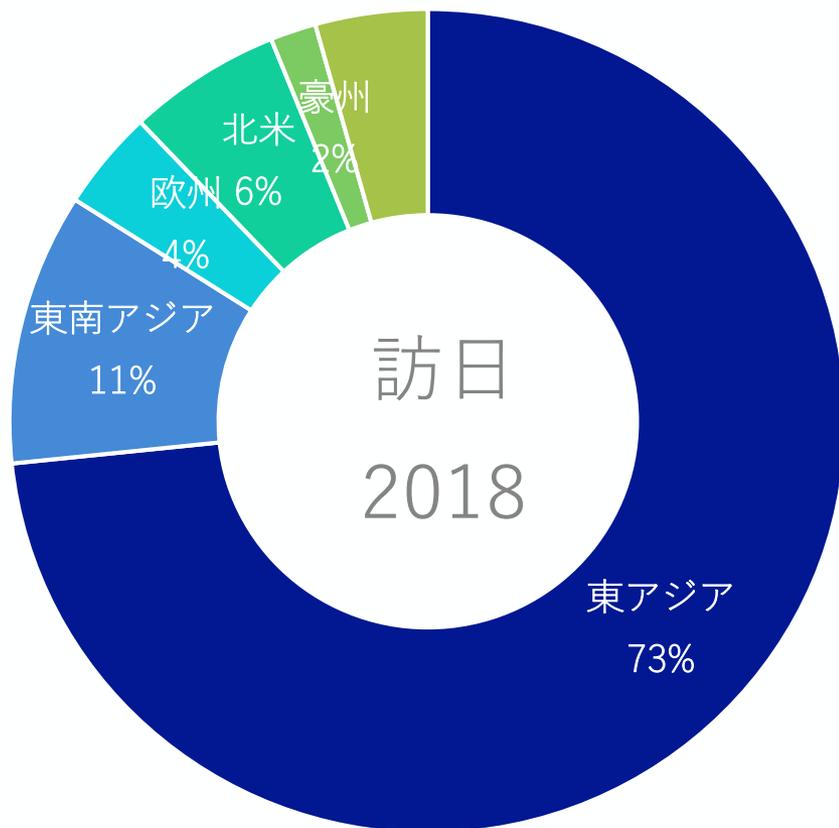
北米
103%

欧州
113%

東南アジア
125%

東アジア
101%

東アジア、東南アジア、欧州、北米はプラス成長。豪州のみマイナス
東南アジアと欧州は順調な伸び、最も多くを占める東アジアがほぼ横ばい



訪日は、東アジア 73%、東南アジア 11%、欧米豪 12%
豊岡は、東アジア 47%、東南アジア 18%、欧米豪 32%

出典：日本政府観光局(JNTO)

出典：豊岡市延べ宿泊者数